# 新いぶし瓦

防災

## モダンベーシック、和の心を今に伝えるいぶしの風格。

古来から脈々と受け継がれる日本の伝統文化。神社・仏閣をはじめ
民家や蔵、塀などあらゆる建物を守り続けながら、歴史の風景として今なお、
威風堂々と鈍く光る「いぶし瓦」。
現在も多くの日本建築が新しく生まれ、防災性や耐久性を高めた「新いぶし瓦」が
これからの日本の風景を守っていきます。

新いぶし瓦

防災







### 削　桟
SO-GI

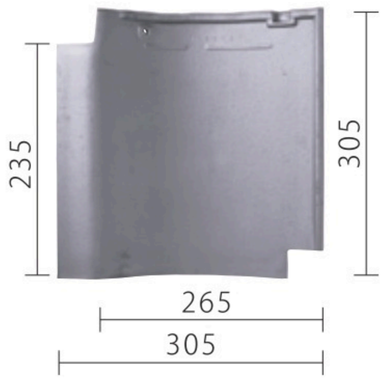



マンセル値
3.97YR 6.48/0.33

**寸法と重量**

| | |
|---|---|
| 全　　長 | 305㎜±4㎜ |
| 全　　幅 | 305㎜±4㎜ |
| 働き長さ | 235㎜±4㎜ |
| 働　き　幅 | 265㎜±4㎜ |
| 1枚の重量 | 2.8kg |
| 1㎡当たり | 16枚 |
| 葺き上げ3.3㎡当たり | 53枚 |

### 切　落
KI.RI.O.TO.SHI




マンセル値
3.97YR 6.48/0.33

**寸法と重量**

| | |
|---|---|
| 全　　長 | 305㎜±4㎜ |
| 全　　幅 | 305㎜±4㎜ |
| 働き長さ | 235㎜±4㎜ |
| 働　き　幅 | 265㎜±4㎜ |
| 1枚の重量 | 2.8kg |
| 1㎡当たり | 16枚 |
| 葺き上げ3.3㎡当たり | 53枚 |

### 中深切落
CYU-FUKA KI.RI.O.TO.SHI

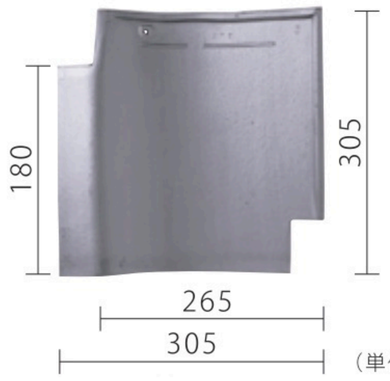



マンセル値
3.97YR 6.48/0.33

**寸法と重量**

| | |
|---|---|
| 全　　長 | 305㎜±4㎜ |
| 全　　幅 | 305㎜±4㎜ |
| 働き長さ | 209㎜±4㎜ |
| 働　き　幅 | 265㎜±4㎜ |
| 1枚の重量 | 2.8kg |
| 1㎡当たり | 18枚 |
| 葺き上げ3.3㎡当たり | 60枚 |

### 両２寸切落
RYO-2SU.N KI.RI.O.TO.SHI




（単位：㎜）

マンセル値
3.97YR 6.48/0.33

**寸法と重量**

| | |
|---|---|
| 全　　長 | 305㎜±4㎜ |
| 全　　幅 | 305㎜±4㎜ |
| 働き長さ | 180㎜±4㎜ |
| 働　き　幅 | 265㎜±4㎜ |
| 1枚の重量 | 2.8kg |
| 1㎡当たり | 21枚 |
| 葺き上げ3.3㎡当たり | 70枚 |

**勾配と流れ長さ**

| 勾　配 | 流れ長さ |
|---|---|
| 2.5寸 | — |
| 3.0寸 | — |
| 3.5寸 | — |
| 4.0寸 | 8m |
| 4.5寸 | 10m |
| 5.0寸 | 12m |
| 5.5寸 | 15m |
| 6.0寸 | 17m |

●時期により納期が多少ずれることがありますので、打合せ時にご確認ください。

●マンセル値はあくまでも近似値としてお考えください。

### 粘土瓦の特性について

瓦は天然素材である自然の粘土を原料とした大型厚物焼成品です。粘土は採取場所により、その成分・性質は微妙に異なり、また同一場所の採取でも全く均一ではありません。
このため瓦には、自然素材特有の現象が見られることがありますが、瓦本来の品質、性能に何ら問題はありませんので、安心してご利用いただけます。

#### 均一な色ではありません

粘土成分の違いや、気圧・気象条件による焼成窯内雰囲気の変化により、微妙な色ムラが発生している場合があります。

#### 変形している場合があります

焼き物特有の若干のネジレや寸法のバラツキがある場合があります。また瓦は重ね合わせて施工していきますので、葺き上げ後に瓦と瓦の間に隙間が発生することがあります。

#### 経年変化により変色します

いぶし瓦は経年変化による黒ずみなどの色変化が発生する場合がありますが、これは自然素材であるいぶし瓦特有の現象であり、品質の劣化を伴うものではありません。

#### いぶし瓦に赤錆が発生する場合があります

いぶし瓦は粘土に含まれる鉄分が瓦表面にある場合、雨水により点状の赤錆が発生する場合があります。これは品質的な劣化ではなく、表面層での一時的な現象であり、拡大したり、また内部に進行するものではありません。

#### 表面亀裂があります

陶器瓦（釉薬瓦）は貫入（かんにゅう）と呼ばれる表面亀裂が発生する場合があります。これは陶磁器製品特有の現象で生地を焼いて焼結させる場合、粘土と釉薬の収縮率の違いにより釉薬表面に細かい亀裂が発生します。但しこれは製品生地までの亀裂ではなく製品の品質（漏水、強度など）には問題ありません。

#### 表面に小さなへこみや素地の露出が生じています

陶器瓦（釉薬瓦）には釉薬面にピンホールと呼ばれる小さいへこみや粘土素地の露出が発生している場合があります。釉薬の気泡や粘土に含まれる有機物（イワ木、小石等）などが燃焼して発生するものですが、品質（漏水、強度など）には問題ありません。

#### 日焼けによる色あせや汚れの付着により変色します

施工後、日焼けによる色あせやホコリの付着などによる色合いの変化が発生する場合があります。また、住宅の立地条件により瓦表面に緑藻類などの汚れが付着することがありますが、屋根材としての品質・性能及び耐久性を損なうものではありません。

**当社製品の使用に際しては「瓦屋根標準設計・施工ガイドライン」に基づいて施工してください。**

■粘土瓦の施工には専門の工事が必要です。専門工事業者にご相談ください。工事に不備があると、落下・雨漏り等の原因となることがあります。■寒冷積雪地域あるいは強風地域では、特殊な工事を必要とする場合があります。こうした地域で粘土瓦を使う場合には、専門工事業者にご相談ください。■粘土瓦を使った屋根は、関連する工事標準仕様書に基づいて設計してください。特殊な設計を行う場合は、専門工事業者にご相談ください。

**カタログ掲載の製品柄・色調は印刷のため、実物とは異なる場合がありますのでご用命の際は、実物サンプルにてお確かめください。**